

早稲田大学 スポーツ科学研究科
修士課程 入試問題の訂正内容

<一般入試 修士課程2年制>

【一般科目】

●問題冊子6ページ :IV(34) 問題文1行目

(誤)

一時運動野

(正)

一次運動野

以上

2024年度 修士課程入学試験（春期）

試験問題〔一般〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

問題を全て答えなさい。全受験生共通問題です。

必ず記号で解答すること。記述にて解答した場合は採点されません。

I.

各設問の空欄（ 1 ）から（ 10 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題1】

クリケットは、旧英領植民地世界で人気があるが、とりわけ（ 1 ）では、国民的スポーツと言われるほどに人気がある。

ア. インド イ. カナダ ウ. ナイジェリア エ. ニュージーランド

【問題2】

経済的な利害がスポーツの基盤をなしているの見なし、経済力のある人や階級が自らの影響力を維持するために行動してスポーツがつくられていると考える社会学理論を（ 2 ）と呼ぶ。

ア. 基盤主義 イ. 行動理論 ウ. コンフリクト理論 エ. フェミニズム理論

【問題3】

武道の国際化にはさまざまな問題が伴ってきた。たとえば、剣道では「強い剣道」と「（ 3 ）」の対立が生じている。

ア. 潔い剣道 イ. 美しい剣道 ウ. 正しい剣道 エ. フェアな剣道

【問題4】

インドネシア共和国バリ島のケチャは、1930年代に（ 4 ）によって創造された。

ア. 観光客 イ. ジャワ人舞踊家 ウ. ドイツ人画家 エ. バリ人舞踊研究者

【問題5】

「よい体育授業」とは、学習目標が十分に達成され、学習成果が上がっている授業といわれるが、それを成立させるための基礎的な条件として、肯定的な人間関係や（ 5 ）な解放が挙げられる。

ア. 情緒的 イ. 身体的 ウ. 積極的 エ. 文化的

【問題 6】

「スポーツの中の教育」という考え方から、体育の授業では、欲求充足という観点から（ 6 ）を全面に押し出した授業展開が求められるようになった。

ア. 技能習得 イ. 自己実現 ウ. 楽しさ エ. 仲間との交流

【問題 7】

ゴール型球技の単元において、ボールを持たないときの動きの典型である「サポート」を学習内容として設定する場合には、ゲームの人数を少なくしたり、攻撃側の（ 7 ）を保障したりするなど、サポートの動きが出現しやすいように教材を工夫することが求められる。

ア. 学習意欲 イ. 数的優位 ウ. 戦術 エ. フォーメーション

【問題 8】

一般に君主の支配の対象である国民を（ 8 ）と呼ぶ。

ア. 従民 イ. 臣民 ウ. 徒民 エ. 万民

【問題 9】

スポーツは英語 sport の音訳語だが、この単語はもともと、古代ローマ人が用いた（ 9 ）にさかのぼる。

ア. deport イ. deportar ウ. deportare エ. deporter

【問題 10】

スポーツを歴史上最初に学問的かつ体系的に論じたのは古代（ 10 ）である。

ア. イギリス人 イ. インド人 ウ. エジプト人 エ. ギリシャ人

Ⅱ.

各設問の空欄（ 11 ）から（ 20 ）にあてはまる最も適切なものを、下記の語群から1つずつ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題1】

スポーツがビジネスとして成立するきっかけになったと言われている（ 11 ）年の（ 12 ）オリンピックでは、（ 13 ）を特徴とした公式スポンサー権利が導入された。これは2021年に開催された東京オリンピックで（ 14 ）。

ア. 1936 イ. 1964 ウ. 1984 エ. 2000 オ. ロンドン
カ. ミュンヘン キ. ロサンゼルス ケ. 東京 コ. ネーミングライツ
サ. タイトルスポンサー シ. 一業種一企業 ス. デジタルライツ
セ. 維持されている ソ. 維持されていない

【問題2】

日本の高校野球春のセンバツ大会、夏の選手権大会、軟式野球の選手権大会すべてを主催・運営しているのは（ 15 ）である。（ 15 ）のコロナ禍以前の年間の収支でもっとも大きな収入は（ 16 ）である。（ 15 ）の事業収入が特徴的なのは大会の（ 17 ）が全くないことである。

ア. 朝日新聞社 イ. 毎日新聞社 ウ. 読売新聞社 エ. 日本高等学校体育連盟
オ. 日本高等学校野球連盟 カ. 放映権料収入 キ. 協賛金収入
ク. 入場料収入 ケ. 物販収入 コ. 寄付金収入

【問題3】

昇降格制度を前提とせず、チーム数の一定の上限を設けるスポーツリーグのことを（ 18 ）などといい、それと対比して、昇降格制度を前提としてチーム数が拡大するスポーツリーグのことを（ 19 ）などという。（ 18 ）はアメリカや日本のプロ野球が、（ 19 ）は欧州や日本のサッカーが典型例であるが、近年欧州サッカーで話題となっている（ 20 ）は、（ 18 ）を志向したものである。

ア. シングルエンティティリーグ イ. セントラルリーグ ウ. オープンリーグ
エ. パシフィックリーグ オ. プレミアリーグ カ. クローズドリーグ
キ. eスポーツ構想 ク. スーパーリーグ構想 ケ. ボールパーク構想

Ⅲ.

各設問の空欄（ 21 ）から（ 30 ）に当てはまるものを、下記の語群から 1 つずつ選んで、その記号を解答欄に記しなさい。

【問題 1】

メタボリックシンドロームの診断基準において、ウェスト周囲径の基準は、男性 $\geq 85\text{cm}$ 、女性 $\geq$ （ 21 ） cm である。

ア. 75 イ. 80 ウ. 85 エ. 90 オ. 95

【問題 2】

持久性運動を主として行うスポーツ選手では、唾液中（ 22 ）の安静値が低く、上気道感染症との関連が指摘されている。

ア. IgA イ. IgE ウ. IgG エ. T 細胞 オ. マクロファージ
カ. ナチュラルキラー（NK）細胞

【問題 3】

骨折がもっとも多い年代は（ 23 ）である。

ア. 小学 1 年生 イ. 小学 3 年生 ウ. 小学 6 年生 エ. 中学 2 年生
オ. 高校 1 年生

【問題 4】

熱射病では体温調節機構が破綻し、体温が異常に上昇する。重症の場合は、横紋筋融解が起こり、筋肉中の（ 24 ）が血中に漏出し、急性腎不全になることもある。

ア. ヘモグロビン イ. ミオグロビン ウ. α -シヌクレイン
エ. フェリチン オ. ヘモジデリン

【問題 5】

（ 25 ）では、上肢を挙上して行う投球動作やテニスのサーブ、水泳などの肩関節の外転・内旋動作によって上腕骨大結節と烏口肩峰アーチとの間で衝突が生じ、微細損傷や慢性的な炎症が生じる。

ア. オスグッド病 イ. インピンジメント障害 ウ. 肘部管症候群
エ. ヘバーデン結節 オ. 変形性肩関節症

【問題6】

すべての人々があらゆる生活の場で健康を享受できることのできる公正な社会を創造することを目的とし、健康につながる行動や生活様式を実現するための教育的な支援と環境整備を行うことを、(26) という。

ア. ヘルスビジネス イ. ヘルスエンパワーメント ウ. ヘルスプロモーション
エ. ヘルスプロヴォケーション オ. ヘルスポートフォリオ

【問題7】

(27) とは身体活動の量を表す単位であり、身体活動の強度に身体活動の実施時間をかけたものである。

ア. メッツ イ. カロリー ウ. エクササイズ
エ. プラクティス オ. エナジー

【問題8】

一般的なピリオダイゼーションのモデルとしては、最も長い期間はマクロサイクルと呼ばれ、さらにメゾサイクルに分割される。基本的なメゾサイクルとして、準備期、(28)、試合期、移行期に区別される。

ア. 移行期 イ. 前試合期 ウ. 順応期
エ. 通常期 オ. 続準備期

【問題9】

伸張 - 短縮サイクルおよび筋・腱の弾性を利用して、爆発的な短縮性収縮を引き出そうとするトレーニングを (29) トレーニングと呼ぶ。

ア. レジスタンス イ. ダイナミック ウ. オプティマイズド
エ. インターバル オ. プライオメトリック

【問題10】

リコンディショニングにおける応急処置の事前準備として、対応者が担うべき役割の明確化、応急処置資材の準備や確認、(30)、の3項目が重要である。

ア. バイタルサインの確認 イ. 緊急性の判断 ウ. RICE 処置
エ. 緊急医療体制の確立 オ. 漸進性の原則

IV.

以下の（ 31 ）から（ 40 ）の問いに対して、正しいものには「ア」を、間違っているものには「イ」を選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- （ 31 ） 酸素摂取能力を規定する要因は、①肺に出入りする空気の量、②肺胞に流入する液が吸気から酸素を取り込む量、③心臓から駆出される血液の量、④骨格筋が血液から酸素を抜き取る量の 4 要因である。
- （ 32 ） 骨格筋は速筋繊維と遅筋繊維に大別できる。この内、動脈血から酸素の抜き取る能力に優れているのは収縮スピードが速く、疲労耐性の低い速筋繊維である。
- （ 33 ） 筋束と腱組織からなる筋腱複合体が発揮する力は、ATP を分解したエネルギーによってアクチンフィラメントがミオシンフィラメントに沿って力を発揮するという筋収縮のみによって生み出される。
- （ 34 ） 運動指令が骨格筋に伝達される道筋を順に並べると、一時運動野→ α 運動神経→脊髓→骨格筋となる。
- （ 35 ） 人が骨格筋を収縮させて力を発揮した際にその力の大きさを自己認識できるのは、その筋を収縮させる際の神経活動から生じる“努力感”と筋収縮によって生じる“力の感覚”が合わさって力の知覚を形成するからであり、これら 2 つの感覚（努力感と力の感覚）は常に均衡する。
- （ 36 ） フェイント動作につられて相手選手の動作方向の予測を誤って不適切な反応を開始すると、その誤りをすぐに停止して、修正することはできない。このように、自動的な情報処理が開始されると、その処理の停止や修正ができなくなる現象のことは『心理的不応』と呼ばれる。
- （ 37 ） 摂取が不足しがちな栄養素は鉄とカルシウムであり、特に女子スポーツ選手では鉄欠乏性貧血が競技力を低下させる大きな原因となっている。
- （ 38 ） 身体運動の動作分析は、単に運動中の人体の一部あるいは全部を対象とした計測を行う作業ではなく、計測されたデータをもとに運動のからくりを解明するという一連の分析過程を包括したものである。
- （ 39 ） MRI とは磁気共鳴画像法のことで、人体内部の形態的・生理的情報を非侵襲的に画像化する技術のことを指す。

- (40) スポーツ映像処理とは、人手をかけずにコンピュータを用いてスポーツ映像から選手の動作を分析・理解・生成する処理のことを指し、スポーツ工学では運動中の人体部位の位置を映像から自動測定する処理やチームプレイ映像の自動処理などの開発が行われている。

V.

各設問の空欄（ 41 ）から（ 50 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題1】

スポーツ場面の技術や（ 41 ）水準はピラミッド型に推移しており、それぞれの（ 42 ）や競技力などの区分けで状況に応じてコーチング計画を持たなければなりません。

ア. 階級	イ. 競技	ウ. 技術	エ. 年齢
オ. 成人	カ. 成果	キ. 技能	ク. メダル

【問題2】

指導者とアスリートとの関係の中には、個々の対応が求められることが多くなるのは事実ですが、一般的にはどのような種目でも集団もしくはチームで活動することが多くあります。指導者はアスリートの（ 43 ）の問題を解決することに加えて、所属するチーム全体の（ 44 ）も今後の課題としてあげられます。

ア. 怪我	イ. 技術	ウ. 個別	エ. 資金
オ. スカウティング	カ. マネジメント	キ. 安全管理	ク. 強化

【問題3】

スポーツ技術の（ 45 ）性（選択性）は、あるひとつの運動に対して、そのやり方である技術が一つだけであるとは限りません。たいていは一つの運動に対して（ 46 ）の技術が存在しています。

ア. 複数	イ. 一つ	ウ. 中心	エ. 理論
オ. 妥当	カ. 発展	キ. 個別	ク. 合目的

【問題4】

大切な試合で過度の緊張や不安を感じてしまう「（ 47 ）」の状態は、アスリートの実力発揮を妨げてしまいます。それは、動機づけや（ 48 ）が最適なレベルを超え、過度に高まることで生じます。

ア. プラトー	イ. トレーニング	ウ. 感情	エ. スランプ
オ. あがり	カ. 安定	キ. 目標	ク. 覚醒

【問題5】

(49)とは、スポーツに初めて出会うジュニア期からトップレベルに至るまで全ての過程で、個々の競技者の特性や発育・(50)段階を適切に把握し、それぞれの段階に応じた適切なトレーニングを行う事によって競技者の有する資質・能力を最大限に引き出し、最終的に世界レベルで戦える競技者に育成・強化すること、さらにはその過程で競技引退後のセカンドキャリアにも配慮した指導を行うことである。

ア. コーチング

イ. 目標

ウ. 種目

エ. 競技レベル

オ. 一貫指導

カ. 企業スポーツ

キ. 技術

ク. 発達

2024年度 修士課程
入学試験(春期)
解答用紙〔一般〕

受験番号					
氏名					

※欄は記入しないで下さい。

I	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

※

II	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)

※

III	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)
	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)

※

IV	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)
	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)

※

V	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)
	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)

※

※
